

## ウッドデッキの製作

我が家の居間の南側ステップを拡張する形でウッドデッキを設計製作した。デッキの製作は初めてであったため、教材として「まるごとDIYウッドデッキ:学習研究社」を使用した。この教材はなかなか優れていて、教材の指示どおりに進めて、問題なく完成することが出来ました。



図1 完成したウッドデッキ(約7.5平方メートル)

材料は防腐処理をした2×4、2×6、4×4支柱、基礎石などです。先に根太を作成し、これが水平になるように、基礎石と束柱(フェンス支柱)を組み上げていく手順は間違いなく良い方法でした。床張りのときのスペーサーの使い方、クギ位置を綺麗に揃えるための治具の使い方など適切なコツも教科書通りに行いました。但し床張りはクギではなくステンレスの木ねじ止めとしました。この作業はねじ頭が深く食い込んで水溜りが出来ないように注意して行いました。フェンスは2×4を用いて作成し、フェンスが完成した後、フェンス支柱の基礎石をコンクリートで固定しました。この理由は、フェンス支柱の垂直を決める場合、基礎石の位置が微妙にずれるためです。

ステップは2箇所を設置し、1箇所は一枚板側板ステップで、他方は細切れ板を活用したものです。



図2 一枚板側板ステップ



図3 細切れ板を活用したステップ

ポストヘッドは台座と一対で使うのが本筋であるようですが、台座そのものも数百円するので、ポストヘッドを直接ボール(フェンス支柱)先端に取り付けることを試みました。この場合ポスト先端にねじの下穴をあけて、ポストヘッドに取り付けられているねじをこの

穴に差し込む方式で締結します。しかしながらポストヘッドに取り付けられているねじの中心位置精度が低いので、ポストヘッドを支柱の中心に取り付けることが、困難でした。仕方なく、ねじ位置に大きな下穴をあけてねじの位置には関係なくポストヘッドをポストに2本のねじで固定しました(図4)。この際支柱の長さを揃えるために支柱を切断しましたが、このように垂直の支柱を電気丸ノコで直角に切断するのは結構難しい作業でした。

フェンスを支柱に固定する手段として木ねじの斜め打ちを行います。この場合ねじ打ち方向にドリルで掘り下げてから、ねじ打ちをするように教科書には書いてありましたが、この掘り下げがうまくいきませんでした。このため、小生は掘り下げは板に直角に行い、この穴の下面からねじの斜め打ちを行ったところ、外観も綺麗に仕上がりました(図5)。



図4 ポストヘッドの取り付け



図5 木ねじの斜め打ち

2008年12月 作成